

業況観測アンケート（2026年度 第1四半期）調査結果

（前年同期比）

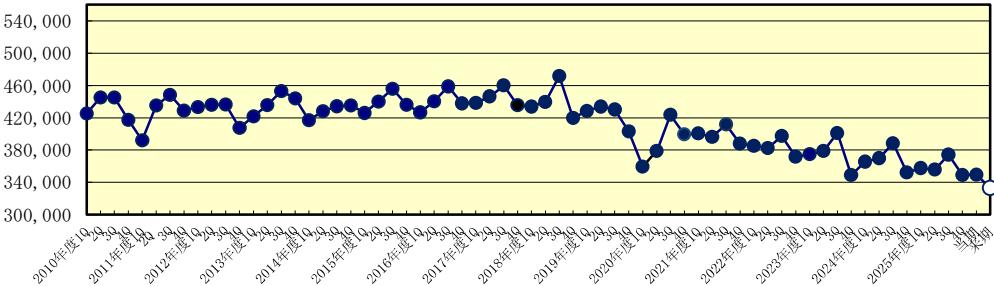
集計企業数 31社 （※来期予測は30社）

2026/7/17

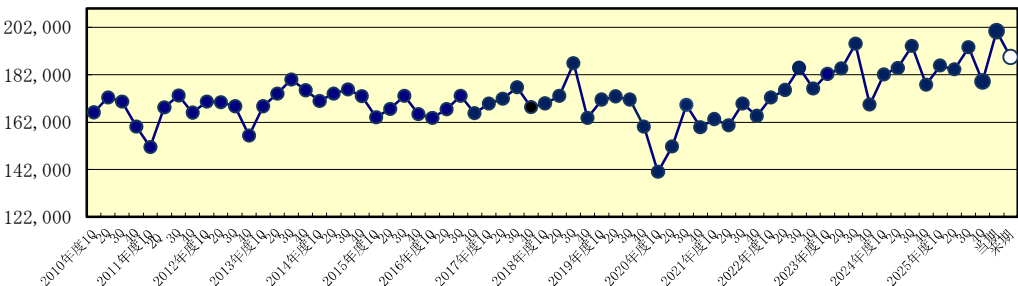
（アンケート値指数換算）

	出荷数量 動向			出荷金額 動向			製品在庫 (期末)			製品価格 動向		
	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期
+50%超	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+45%～+50%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.5	0.0
+40%～+45%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
+35%～+40%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.3
+30%～+35%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1
+25%～+30%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
+20%～+25%未満	0.0	3.2	2.4	0.4	2.2	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	11.9
+15%～+20%未満	1.1	0.5	0.0	2.5	1.2	1.2	0.0	0.0	0.6	0.0	0.1	0.4
+10%～+15%未満	3.2	3.1	0.2	2.4	3.3	0.2	0.0	0.2	0.0	0.1	11.1	3.2
+5%～+10%未満	3.9	3.0	1.7	3.4	10.3	3.4	0.1	0.2	0.2	1.1	2.6	0.0
+5%未満	3.7	9.8	2.9	13.2	0.0	10.0	0.4	2.5	3.0	6.9	1.3	4.4
±0%	0.5	2.5	5.1	1.1	0.2	9.5	4.9	3.8	3.7	22.4	9.2	9.7
-5%未満	10.6	0.4	2.1	0.3	0.0	1.3	2.8	2.9	5.1	0.4	0.0	0.0
-5%～-10%未満	0.2	0.4	8.7	0.0	7.8	0.1	1.5	0.4	1.1	0.0	0.0	0.7
-10%～-15%未満	0.0	0.0	7.8	0.0	0.0	0.0	3.9	0.0	7.8	0.0	0.0	0.0
-15%～-20%未満	7.8	7.8	0.1	7.8	0.0	0.0	16.1	10.8	0.0	0.0	0.0	0.0
-20%超	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	9.1	8.7	0.0	0.0	0.0

出荷数量動向（トン）



出荷金額動向（百万円）



業種別動向観測アンケート（2026年度第1四半期）調査結果

2026/7/17

（ 前 年 同 期 金 額 比 ）

集計企業数 31社

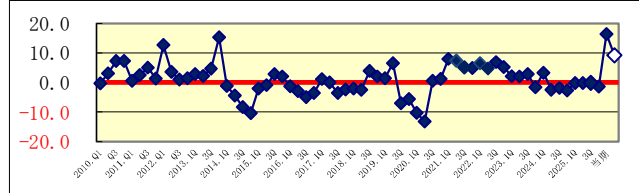
当期(4~6月)実績

(※来期予測は30社)

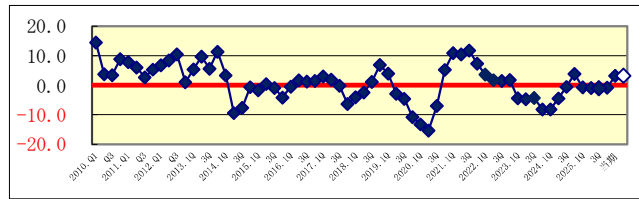
建 築	建築資材	道路車両		船舶・構造物	機械・電気機械・金属	木工製品	家庭用	トラフィックペイント
		新 車	補 修					
16.3	3.1	1.8	6.9	14.5	11.1	24.5	10.2	15.3

メーカーのコメント例

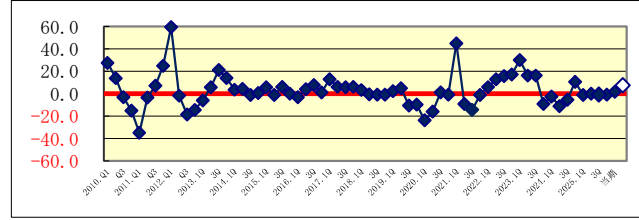
建築・外装
・戸建て関連の着工件数は資材費高騰で微減で推移したが、都市再開発や改修需要が引き続き市場を支えた。中東情勢の影響による備蓄目的も含めた買い込みが発生し、大幅な受注増となった。



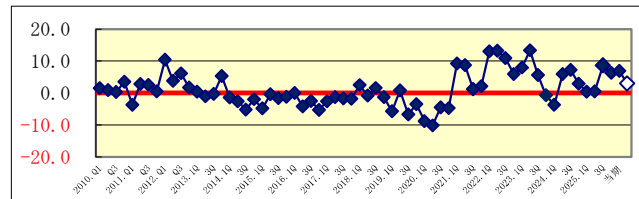
建築資材
・主力のアルミサッシ、P C M建材を中心に低調傾向が続く。中東情勢の悪化により、出荷を一時制限したため数量は減ったところもあったが、価格改定を行ったため金額は前年比増であった。



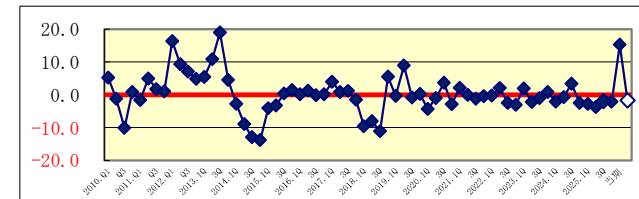
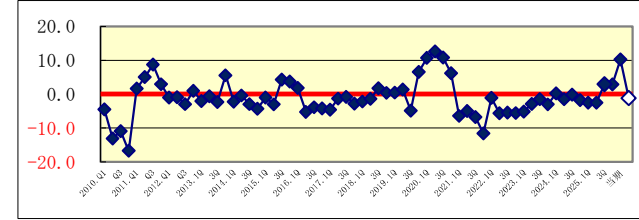
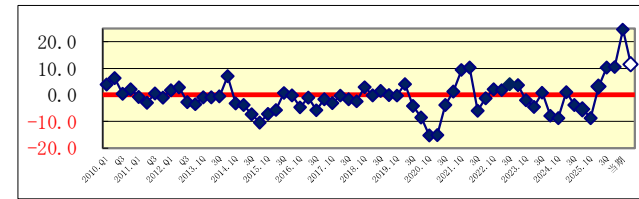
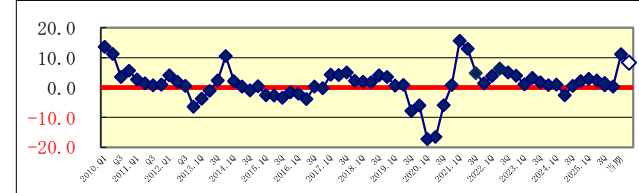
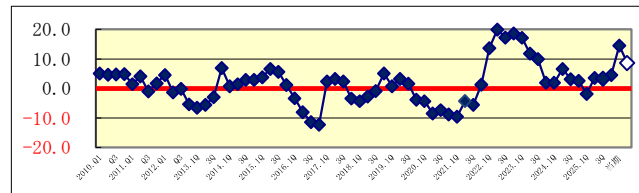
新車
・今年度に入り国内自動車メーカーの生産台数は微減傾向であったが内装用プラスチック塗料などは前期比で国内、輸出ともにプラス推移した。中東情勢による価格高騰傾向が続いたためやや金額増となった。



補修
・入庫車数はほぼ横ばいとみられるが、中東情勢による影響で塗料出荷は昨年を超える状況。大型車分野も同様に出荷量は増加した。6月以降は徐々に落ち着いていく見込み。



船舶・構造物
・船舶関連は堅調に推移した。中東情勢により出荷を一時制限し出荷量は減ったが、価格は上げたため、売上金額は増えた。
・構造物はバラつきは有るものの低調傾向。汎用錆止めを中心に中東情勢不安による買い込みがありプラスとなった。



メーカーのコメント例

機械・電気機械・金属製品
・中東情勢悪化による供給不安から一般工業用需要が増加し、数量・金額ともに大幅増となった。建機・農機、工作機械などの他、半導体関連やデジタル機器向けプラスチック用塗料も好調であった。

木工製品
・期末直前になってナフサショックによる原油供給の不安定さから買い込みが発生し、出荷は大きく好転した。一部資材の供給制約や物流の混乱に伴う工事遅延もあった。

家庭用
・エアゾール製品を中心にユーザーのパニック買いが発生するなど、中東情勢の影響による特需で、メーカーの供給が追いつかない状態であった。シンナーやカラースプレーなどの需要が非常に高かった。

トラフィックペイント
・4月からの中東情勢により原材料の入荷が不透明な状況となったが、工事発注は堅調であった。出荷に関しては買い込みもありプラスとなった。一部では在庫の取り合いの状況も発生した。

- ◆ 業種別動向観測アンケート（四半期）の回答の「前期」・「当期」データを月次の解析方法に従って計算した。
- ◇ 「来期予測」回答データを同様に計算した。

全体
・中東情勢の影響で多くの分野で塗料の引合いは増加基調となった。原材料購入価格の上昇に応じて販売価格も上昇した。一部では供給が追いつかず、在庫を崩して対応を行った。溶剤系塗料から水溶性塗料への需要シフトも見られた。

業種別動向観測アンケート（2026年度第1四半期）調査結果

2026/7/17

(前 年 同 期 比)

集計企業数 31社

(※来期予測は30社)

(アンケート値)

[illegible]